

各 教 育 局 長
各 道 立 学 校 長 様
各市町村教育委員会教育長(札幌市を除く。)
(各市町村立学校長)

北海道教育庁学校教育局健康・体育課長 国 安 隆

健康教育の更なる充実について(通知)

北海道教育委員会では、令和4年度から、地域の健康教育を牽引するリーダーを養成する「健康教育推進リーダー養成事業」を実施しており、健康教育推進リーダーそれぞれの学校の子どもたちの健康課題をテーマに、学校の実態等に即した2年間の実践研究を行ってきました。この度、令和5年度・令和6年度の取組をまとめた報告書及び説明動画を作成しましたので、お知らせします。

つきましては、健康が「生きる力」の基盤となるものであることを踏まえ、本資料を参考にするとともに、次の点にも留意の上、各学校において健康教育の更なる充実を図っていただくようお願いします。

記

1 資料

令和5、6年度健康教育推進リーダー養成事業報告書

【報告書掲載URL】

<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/182455.html>

【説明動画URL】 別添リーフレットに掲載



- (1) 倶知安町立倶知安小学校
テーマ「子どものSOSサインをキャッチするために」
- (2) 岩見沢市立幌向小学校
テーマ「むし歯予防を通して歯と口の健康に関する意識を高める」
- (3) 岩見沢市立明成中学校
テーマ「ジェンダー平等を基盤とした性教育」
- (4) 北海道室蘭栄高等学校(前任校:北海道登別青嶺高等学校)
テーマ「睡眠を中心とした生活習慣に関わる健康行動の変容を目指して」
- (5) 北海道新得高等支援学校
テーマ「思春期保健教育全体計画に基づいた性に関する指導
～いのちの安全教育をきっかけに～」
- (6) 北海道千歳高等支援学校
テーマ「自己理解から始める健康管理能力の育成」

2 留意事項

- (1) 児童生徒の健康課題については、健康診断の結果や保健室利用状況等を整理し、道や国の平均値と比較したり、自校の経年変化を分析したりしながら、的確に把握すること。
- (2) 年度ごとに重点的に取り組むテーマを設定し、学校教育活動全体で関係する取組との関連を図りながら、課題解決に向けた取組の工夫を行うこと。
- (3) 学校保健委員会等（学校運営協議会、アレルギー対応委員会等を含む）において、必要に応じてオンラインなども活用し、学校医や学校歯科医、学校薬剤師、地域の保健福祉担当者などの専門家の意見を積極的に取り入れながら、自校の健康課題の解決に向けた取組の充実を図るとともに、緊急時等にもすぐに連携できるよう日常から体制整備に努めること。
- (4) 児童生徒が主体的に参加する取組（児童生徒保健委員会等）を積極的に取り入れること。

（健康・体育指導係）